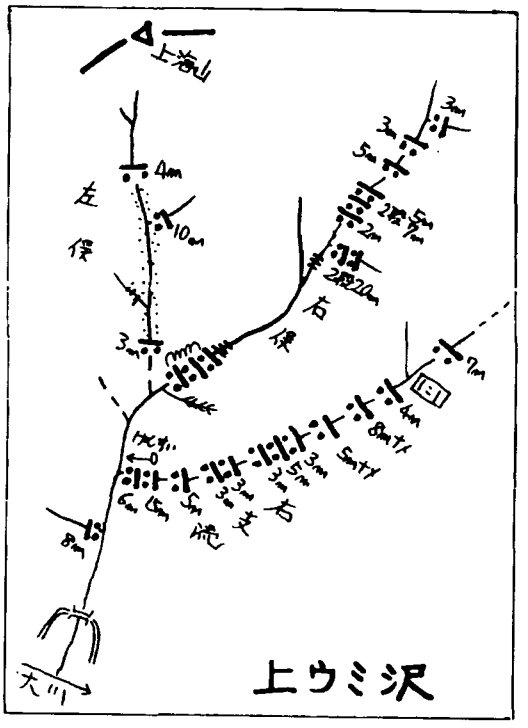
大川支流上ウミ沢右支流

1992年7月26日

L

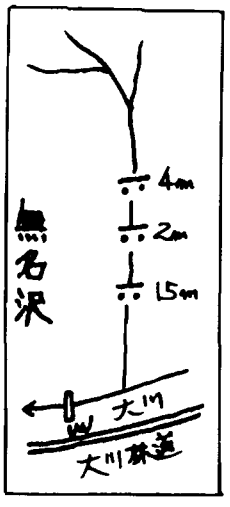


下ウミ沢の遡行を終え，尾根を越えて上ウミ沢右支流の源頭をめざす。急な斜面をヤブこぎの後ガレ場に出，そこから少し下ると源頭に出た。すぐに７ｍの滝がかかり，左側を下降すると二俣に出る。このあとは滝の連続となった。まず４ｍと８ｍの滝を下降し，続く５ｍ，３ｍ，５ｍの滝は，左側を巻いて下降する。続く３ｍの滝の下降でハプニング。ホールドが崩れてバランスを失い，１ｍ程滑落する。とても恐い思いをする。その後も３ｍから５ｍの滝が次々と続いて，一気に高度を下げていく。上ウミ沢本流との出合は15mと6mの階段状の滝で，左側を懸垂下降する。

出合からは30分河原歩きをして下降終了。私達のパーティが一番遅くなったようで，早く下ったみんなが車で迎えに来てくれていた。リーダーについていくのと記録をとるのに精一杯で，長いようで短かった一日でした。

（記・

［タイム］　下降開始(11:50)→源頭(12:30)→本流出合(13:50)→下降終了(14:10)



大川支流無名沢

1992年6月13日

L

9時10分，上ウミ沢と下ウミ沢の間で右岸から大川に合流する無名沢に向けて下降開始。急斜面を下り，ガレ沢を分ける小尾根を下る。20分で沢に降り立つが，降り立った所は浮石のいっぱいつまったガレ沢である。浮石の上にしか足を置く場所がなく，落石を起こさないように神経を使う。下り始